

# 鹿児島市民体育館ソフトバレーボール交歓大会 ルールについて

大会実行委員 Nexus・Colors

- 審判について
  - 主審・副審・線審・得点係は参加チームメンバーで審判してください。  
登録メンバー以外が審判を行うことはご遠慮ください。
  - 主審1名、副審1名、ラインズマン2名、点数板1又は2名で行って下さい。
  - 笛は各チーム2個（主審用・副審用）準備をしてください。電子ブザーの使用も可とします。
  - 副審は時間を計測できるものを準備してください。  
セット間（1分）、試合間（5分）、タイム（30秒）の時間を計測して下さい。
  - 試合前に2本の乱打を行います。両チームのキャプテンが同意した場合は省略可とします。
  - 試合前のじゃんけんで勝ったチームがサーブ（ボール）かコートを選択します。
  - 大会の趣旨である相互の親睦のためにも、プレーヤーは審判の判定に全信頼を置いてプレーしましょう！
- メンバーチェンジについて  
メンバーチェンジは審判に申し出てください。サーブ毎のメンバーチェンジは認めません。
- タイムアウトについて（1回につき30秒間）  
各チームは1セットにつき最大2回のタイムアウトができます。

《プレー上の反則》 代表的なものを下記に記しています。

- フットフォルト  
サーブを打った瞬間にラインを踏んでいたとき。
- サービスの反則  
サーブのためにトスしたボールを打たなかったとき。サービス順を誤ったとき。
- サービスに対する反則  
相手チームがサーブしたボールを白帯よりも高い位置から返球したとき。
- オーバータイムス  
相手コートへの返球がブロックを除いて最大限3回を超えたとき。
- ホールディング  
ボールに接触中、明らかにボールが止まるようなプレーがあったとき。
- ドリブル  
ブロックの場合を除き同一選手が明らかに2度続けてボールに接触したとき。
- タッチネット  
プレー中にネットやアンテナ、ネット幅の支柱部分に接触したとき。
- オーバーネット  
ネットを超えて相手コート内にあるボールに接触したとき。
- パッシングザセンターライン  
センターラインを完全に超えて相手コートに接触したとき。
- ボールアウト  
ボールがコート外の物体やネット上方のアンテナのみに接触したとき。